



2020年5月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年10月10日

上場会社名 Shinwa Wise Holdings株式会社
 コード番号 2437 URL <http://www.shinwa-wise.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽佐田 信治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 益戸 佳治

TEL 03-5537-8024

四半期報告書提出予定日 2019年10月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績(2019年6月1日～2019年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	270	69.8	164		175		123	
2019年5月期第1四半期	894	196.5	3		11		26	

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 121百万円 (%) 2019年5月期第1四半期 28百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	18.74	
2019年5月期第1四半期	4.07	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年5月期第1四半期	4,314	1,842	42.7	269.89
2019年5月期	4,735	1,895	40.0	287.83

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 1,842百万円 2019年5月期 1,895百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期		0.00		3.00	3.00
2020年5月期					
2020年5月期(予想)		0.00		3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年6月1日～2020年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,148	41.5	58		69		68		10.32
通期	2,726	7.0	79		34		22		3.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年5月期1Q	7,439,900 株	2019年5月期	7,439,900 株
期末自己株式数	2020年5月期1Q	612,862 株	2019年5月期	852,800 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年5月期1Q	6,613,174 株	2019年5月期1Q	6,448,379 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年6月1日～2019年8月31日）におけるわが国の経済は、雇用や所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、米中通商問題や英国のEU離脱問題などによる海外の政治や経済の不確実性、金融資本市場の変動等の懸念が強まっており、先行きは不透明な状況にあります。

そのような中、日本国内の美術品市場では、近代美術の中低価格帯相場の急激な下落と、市場全体の流通量の大幅な減少が続いており、オークション関連事業にとって軽視できない状況にありました。

エネルギー関連事業では、大規模事業者について経済産業省による電力の固定価格買い取り制度の廃止が検討されており、低圧型太陽光発電施設販売事業にとって、収益目線での新たな案件の確保が困難な状況にありました。また、マレーシアのPKS事業は引き続き収益改善に取り組みました。

セグメントの業績は次のとおりです。

①オークション関連事業

当第1四半期連結累計期間は、取扱高436,506千円（前年同期間比40.9%減）、売上高232,286千円（前年同期間比61.6%減）、セグメント損失130,126千円（前年同期間は18,968千円のセグメント利益）となりました。

種別の業績は次のとおりです。

種 別	第31期第1四半期連結累計期間							
	自 2019年6月1日							
	至 2019年8月31日							
	取扱高 (千円)	前年比 (%)	売上高 (千円)	前年比 (%)	オークション 開催数	オークション 出品数	オークション 落札数	落札率 (%)
近代美術オークション (注) 1	43,120	—	8,374	—	1	56	42	75.0
近代陶芸オークション	119,090	△16.0	20,532	△29.2	1	183	160	87.4
近代美術PartⅡオークション (注) 1	47,975	—	10,491	—	1	192	176	91.7
その他オークション (注) 1、2	24,770	—	5,436	—	1	552	166	30.1
オークション事業合計	234,955	71.0	44,836	54.3	4	983	544	55.3
プライベートセール	200,926	△66.5	180,209	△68.4				
その他(注) 4	624	△16.5	7,240	43.3				
オークション関連 その他事業合計	201,551	△66.5	187,450	△67.4				
オークション関連事業合計	436,506	△40.9	232,286	△61.6				

(注) 1. 前年同期間は、オークション会場改装工事及びShinwa Priveの画廊スペース新設工事の時期とほぼ重なり、オークションは近代陶芸オークション1開催のみであったため、他のオークションの前年比増減の記載を省略しております。

2. その他オークションは、出品の状況により随時開催いたします。

3. 取扱高の前年比と売上高の前年比の乖離の大きな要因のひとつに、商品売上高の増減があります。商品売上高は、オークション落札価額に対する手数料収入、カタログ収入、年会費等と同様に売上高を構成する要素のひとつであり、在庫商品を販売した場合、その販売価格（オークションでの落札の場合には落札価額）を商品売上高として、売上高に計上することとしております。

4. その他部門の取扱高と売上高の逆転現象は、カタログ収入の計上によるものであります。

i) オークション事業

当第1四半期連結累計期間は、近代美術オークション、近代陶芸オークション、近代美術Part IIオークション及びBags/Jewellery&Watchesオークションを各1回、合計で4回のオークションを開催しました。

近代陶芸オークションは、前年比で出品点数13.7%減、落札点数16.7%減となりました。古美術を含むオークションが引き続き好調であったことから、平均落札単価は前年比で1.7%増加し、また、エスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は128.2%でした。その他、近代美術オークションのエスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は64.2%、近代美術Part IIオークションのエスティメイト下限合計額に対する落札価額合計額の比率は231.8%となりました。

プライベートセール部門では、Shinwa Priveの画廊スペースを活用したお客様のニーズにきめ細やかに対応できる体制を整え、高額作品を積極的に取り扱い順調に推移いたしました。前年同期間は、特別高額な案件の成約があったため、前年比では、取扱高、売上高ともに減少しております。その他、高額ダイヤモンド販売事業も、引き続き安定した売上高で推移いたしました。

②エネルギー関連事業

マレーシアにおけるPKS事業では、継続して収益改善に取り組むとともに、販売先の開拓にも注力いたしました。その他、子会社保有の太陽光発電施設による売電事業等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年比86.8%減の35,351千円、セグメント損失は、5,864千円（前年同期間は8,675千円のセグメント損失）となりました。

その他、各事業の販売費及び一般管理費の見直しを行う等、グループ全体の利益体質化に向けた改善に取り組み、以上により、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高270,663千円（前年同期間比69.8%減）、営業損失164,379千円（前年同期間は3,499千円の営業損失）、経常損失175,470千円（前年同期間は11,367千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失123,903千円（前年同期間は26,235千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、4,314,096千円となり、前連結会計年度末に比べ、421,580千円減少いたしました。その主な内訳は現金及び預金の減少474,650千円、オークション未収入金の減少189,048千円及び前渡金の減少60,457千円と商品の増加394,521千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,471,554千円となり、前連結会計年度末に比べ、368,184千円減少いたしました。その主な内訳はオークション未払金の減少271,701千円、短期借入金の減少366,732千円と買掛金の増加379,236千円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,842,542千円となり、前連結会計年度末に比べ、53,395千円減少いたしました。その主な内訳は資本剰余金の増加34,747千円、自己株式の減少62,185千円と利益剰余金の減少152,285千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年7月12日の「2019年5月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,223,162	748,512
売掛金	19,121	14,096
オークション未収入金	190,609	1,561
商品	1,297,117	1,691,638
前渡金	147,991	87,533
その他	360,347	251,426
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	3,238,348	2,794,765
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,388	65,660
機械装置及び運搬具(純額)	847,594	830,950
土地	121,760	121,760
その他(純額)	30,282	28,790
有形固定資産合計	1,068,025	1,047,160
無形固定資産		
ソフトウェア	25,937	26,228
無形固定資産合計	25,937	26,228
投資その他の資産		
関係会社株式	74,873	64,873
その他	343,842	396,405
貸倒引当金	△15,351	△15,337
投資その他の資産合計	403,365	445,941
固定資産合計	1,497,328	1,519,330
資産合計	4,735,676	4,314,096
負債の部		
流動負債		
買掛金	109,600	488,836
オークション未払金	274,563	2,861
短期借入金	1,112,542	745,810
1年内償還予定の社債	44,000	44,000
1年内返済予定の長期借入金	147,932	129,932
未払法人税等	63,972	3,798
賞与引当金	14,971	6,529
その他	175,209	189,669
流動負債合計	1,942,791	1,611,437
固定負債		
社債	40,000	40,000
長期借入金	215,340	193,407
退職給付に係る負債	15,480	15,675
役員退職慰労引当金	36,000	36,500
長期割賦未払金	503,451	489,970
その他	86,676	84,564
固定負債合計	896,948	860,116
負債合計	2,839,739	2,471,554

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,142	1,133,142
資本剰余金	739,381	774,128
利益剰余金	247,529	95,244
自己株式	△221,063	△158,878
株主資本合計	1,898,990	1,843,637
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,052	△1,095
その他の包括利益累計額合計	△3,052	△1,095
純資産合計	1,895,937	1,842,542
負債純資産合計	4,735,676	4,314,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	894,887	270,663
売上原価	636,529	226,090
売上総利益	258,357	44,573
販売費及び一般管理費	261,857	208,952
営業損失(△)	△3,499	△164,379
営業外収益		
受取利息	93	241
為替差益	3,281	-
未払配当金除斥益	133	204
デリバティブ評価益	932	183
その他	1,168	478
営業外収益合計	5,609	1,107
営業外費用		
支払利息	10,346	4,206
為替差損	-	4,861
支払手数料	3,131	3,131
営業外費用合計	13,477	12,198
経常損失(△)	△11,367	△175,470
特別利益		
固定資産売却益	156	-
特別利益合計	156	-
特別損失		
固定資産除却損	155	-
特別損失合計	155	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△11,366	△175,470
法人税、住民税及び事業税	52,960	2,176
法人税等調整額	△38,968	△53,743
法人税等合計	13,991	△51,567
四半期純損失(△)	△25,358	△123,903
非支配株主に帰属する四半期純利益	876	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△26,235	△123,903

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純損失(△)	△25,358	△123,903
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,704	1,957
その他の包括利益合計	△2,704	1,957
四半期包括利益	△28,063	△121,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△29,423	△121,946
非支配株主に係る四半期包括利益	1,360	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間より、非連結子会社としていたシンワクリエイト株式会社を重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	604,637	267,766	872,403	22,484	894,887	—	894,887
セグメント 利益又は損 失(△)	18,968	△8,675	10,292	13,917	24,209	△27,709	△3,499

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業、海外不動産事業及びマイクロファイナンス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△27,709千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表計上額
	オークション 関連事業	エネルギー 関連事業	計				
売上高	232,286	35,351	267,638	3,025	270,663	—	270,663
セグメント 利益又は損 失(△)	△130,126	△5,864	△135,991	1,189	△134,801	△29,578	△164,379

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、医療機関向け支援事業及び不動産事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用△29,578千円であります。なお、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。